

『偏微分方程式入門』(三刷) 正誤表

[P.65 10] 被積分函数の先頭の $\frac{1}{2}$ と大括弧 [の順序を入れ替え, $\left[\frac{1}{2}\right\}$ とする.

[P.146] 脚注の冒頭に次を追加:

詳しく言うと, 任意の C^2 級函数 φ に対して積分 $\int u\Delta\varphi dx$ を第 1 部第 4 章で計算した方法で $\int r^{\nu-2}\{\nu(\nu+1) + \Delta_S\}v \cdot \varphi dx = 0$ に変形できる. なお,